LIXIL

Link to Good Living

榎戸工場のご案内







ＩＳＯ審査登録

ISO 9001
JQA-2335

JAB
MS
CM009

ISO 14001
JQA-EM0352

「快適さへの技術」を トータルに考えるLIXIL榎戸工場。

―― 最新の設備を整え、「人」にやさしい製品づくりを展開しています。 ――

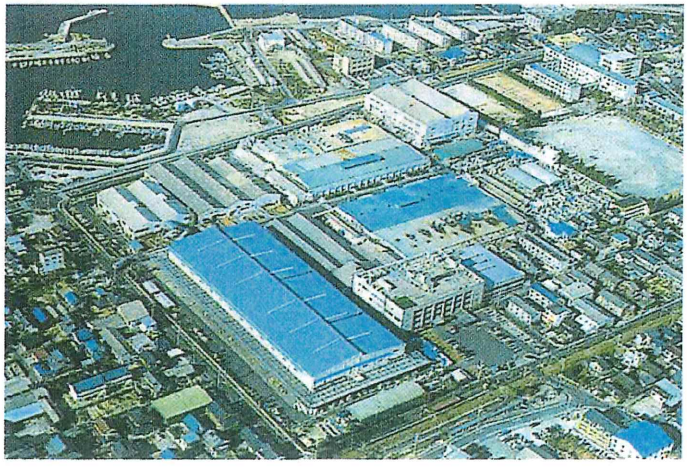
美しく、快適な都市・住まいづくりを基本に、つねに「人」を中心とした豊かな環境を創造するLIXIL榎戸工場。榎戸工場では地域社会との環境調和、そしてあたたかな信頼関係を結び、地域とともに発展してきました。伝統的な優れた窯業技術を受け継ぎながら、独自の高度な技術・ノウハウを蓄積し、最新設備のもとに高品質な製品の数々を誕生させています。そして多様化する快適さへのニーズに応えるべく、日々柔軟な視点で、より良い製品づくりに積極的に取り組んでいます。

LIXILグループ衛生陶器事業の中枢機関

榎戸工場は、圧力鋳込成形機、ロボット成形自動仕上げ機をはじめとした最新の生産設備と高度な生産技術を有し、世界でもトップクラスの工場です。
また、同じ敷地内には、新商品及び要素技術の開発、品質向上に努める研究開発部門もあり、幅広い分野で活躍するLIXILの主力工場です。

徹底した品質管理

美しさと使いやすさ、耐久性など全ての面でお客さまに満足いただける「良品づくり」を常に心がけて生産、品質管理を行っています。JIS基準よりも厳しい社内基準を設け、原材料の受入から完成品の検査に至るまで、きめ細かな品質管理体制を確立しています。また、埋立産廃物ゼロ、資源の再利用にも積極的に取り組んでいます。



工場概要

名　　称／(株)LIXIL榎戸工場
所 在 地／愛知県常滑市港町3丁目77番地　TEL.〈0569〉42−2101
設　　立／1970年5月
敷　　地／約85,000㎡
建　　物／約63,000㎡
製造品目／洋風便器　タンク　洗面器　小便器

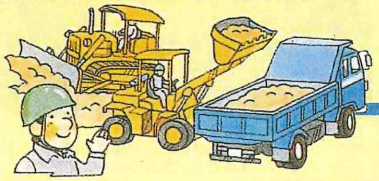
沿　革

1970年　5月／操業開始
1973年　6月／JIS認定工場となる
1996年　6月／KILAMIC(抗菌陶器)を標準価格で販売開始
1998年　5月／ISO9002認証取得(JQA)
1999年　6月／プロガード 販売開始
2000年　7月／ISO14001 認証取得(JQA)
2001年　4月／SATIS 販売開始
2005年　4月／ぐるピカ便器　アメージュV 販売開始
2006年　4月／超節水ECO 6トイレ 販売開始
2008年　4月／REGIO 販売開始
2008年　8月／無水小便器 販売開始
2009年　4月／SATIS「きれいトイレ」としてモデルチェンジ
2011年　4月／ECO4トイレ販売開始
2013年　2月／SATIS Gタイプ、Sタイプ、Eタイプ発売
2014年　3月／ISO14001 LIXIL統合認証(JMAQA)に取得変更
2015年　4月／アメージュ Z(フチレス) 販売開始
2016年　4月／アクアセラミック販売開始
　　SATIS Gタイプ、Sタイプモデルチェンジ
2016年　5月／プレアス LSタイプ、HSタイプ販売開始
2017年　3月／ISO14001 LIXIL統合認証(JQA)に取得変更
2019年　4月／レジリエンストイレ販売開始

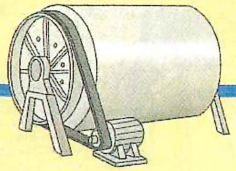
衛生陶器のできるまで

焼物の豊かな質感と確かな機能をそなえた、
高品質な衛生陶器を生産するための工程です。

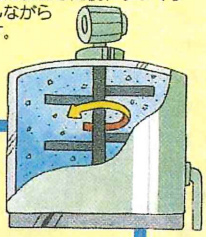
原料
世界各地から厳選された原料が集められ、入念な受入検査の後、合格したものだけを使用します。



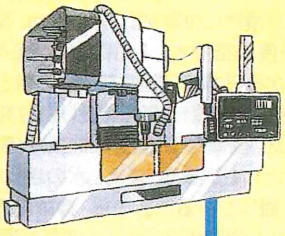
微粉砕
受入検査後、ボールミルで微粉砕し泥しょうにします。



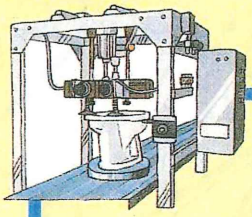
寝かしタンク
素地原料をかくはん機に移し、水や水ガラスを加え混合した後、ゆっくりかくはんしながら熟成します。



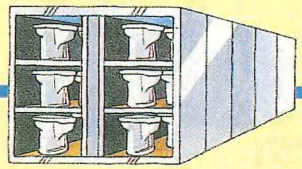
型づくり
樹脂や石こうで製品の鋳込型を作ります。元になる型の製作はCAM方式で、大部分が自動化されています。



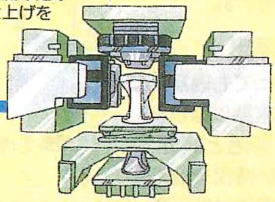
白素地の選別・仕上げ
成形仕上げで不十分な箇所をチェックし修整する工程です。



乾燥
成形された生素地を乾燥炉に送り、2日間かけて乾燥させます。



鋳込成形・接合
素地原料を型に流し込み成形し、接合仕上げをします。

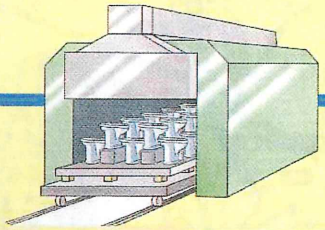


梱包・出荷
箱詰めした製品を、知多物流センターに集め、独自のトータル出荷システムにより受注した翌日には全国に到着します。
（一部遠隔地は除きます）

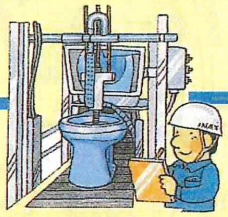
施釉
釉（うわぐすり）と抗菌剤をエアースプレーを使用して塗付します。



焼成
釉（うわぐすり）を施した素地を、コンピュータで精密制御された焼成炉により均一に焼き上げます。



検査
焼成した製品ひとつひとつの外観・寸法・機能の検査を行い、不良品が出荷されないよう厳しくチェックします。



組立
検査後、タンクや便座、金具を組み立て、完成品とします。

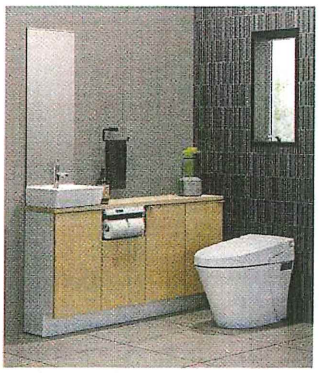


機能性と美しいフォルムを両立させた製品をおとどけします。

榎戸工場で生産されるトイレは、機能性、快適性を徹底的に追求したトイレ。素材から研究・開発を行ない、1996年にはキラミックを、1999年にはプロガードと陶器で唯一水あかのつきにくいトイレを発売しています。
そして、さらなるお客さまのニーズにお応えすべく、2016年には革新的な防汚技術「アクアセラミック」を展開、サティス、プレアスを発売。
もちろんパブリック向けトイレも充実のラインアップです。



▲サティスGタイプ



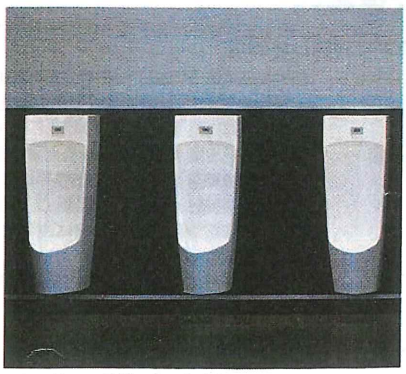
▲サティスSタイプ



▲プレアスLSタイプ



▲パブリック向けタンクレストイレ



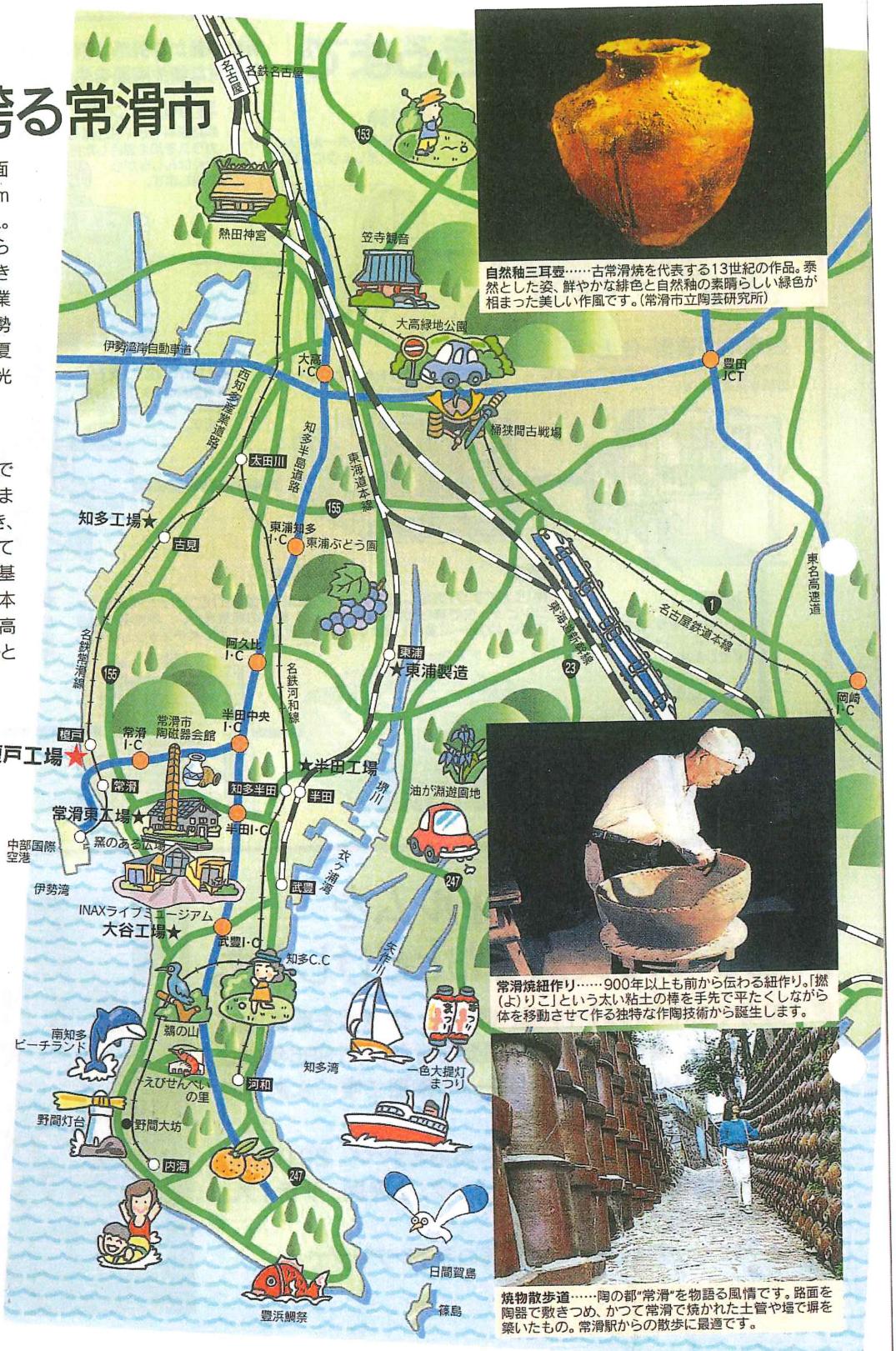
▲センサー一体型ストール小便器

焼物の伝統と豊かな自然を誇る常滑市

常滑市は知多半島西岸の中央部、伊勢湾に面した丘陵地に位置する、東西6km、南北15kmの細長い街です。人口はおよそ54,000人。古くから日本の代表的な焼物の街として知られ、優れた技術と伝統を受け継ぎ発展してきました。産業は工業(主に窯業)と農業、漁業を主としています。また、水のきれいな伊勢湾に面していることから、春は潮干狩り、夏はヨットや海水浴、さらに四季を通じて観光を楽しめる、自然環境の豊かな街です。

日本最古といわれる焼物の歴史

常滑の歴史は、窯業の歴史といっても過言ではありません。古く平安時代の末期にはじまり、室町、桃山、さらに江戸、明治と続き、焼物の技術は900年以上の長い時代を経て現代に受け継がれています。常滑には数千基の古窯があるといわれ、瀬戸や信楽など日本六古窯のひとつとして有名です。現在では、高品質の製品を数多く誕生させる有数の窯場として、海外からも高い評価を博しています。



自然釉三耳壺……古常滑焼を代表する13世紀の作品。泰然とした姿、鮮やかな緋色と自然釉の素晴らしい緑色が相まった美しい作風です。(常滑市立陶芸研究所)

常滑焼紐作り……900年以上も前から伝わる紐作り。「撚(よ)りこ」という太い粘土の棒を手先で平たくしながら体を移動させて作る独特な作陶技術から誕生します。

焼物散歩道……陶の都"常滑"を物語る風情です。路面を陶器で敷きつめ、かつて常滑で焼かれた土管や塀で塀を築いたもの。常滑駅からの散歩に最適です。

交通案内

●車でお越しの場合

・東京から… 東名高速道路 豊田JCT →伊勢湾岸自動車道路 →大府I.Cで降りる
→知多半島道路 大府西I.C →知多半島道路 半田中央JCT→知多横断道路 常滑I.C
「東名高速道路 豊田JCT → 常滑I.C 約40分」

・大阪から… 新名神高速道路 亀山JCT →伊勢湾岸自動車道路 四日市JCT →大府I.Cで降り
→知多半島道路 大府西I.C →知多半島道路 半田中央JCT→知多横断道路 常滑I.C
「名神高速道路 一宮I.C → 常滑I.C 約60分」
知多横断道路 常滑I.Cから常滑I.Cを降りて真っ直ぐ → 多屋→錦町3丁目→
多屋町5丁目→多屋町3丁目
→名無し信号交差点を右折 → 鬼崎漁港東を右折(10分)

●電車をご利用の場合

・東海道新幹線 東京 → 名古屋 (120分)
・東海道新幹線 大阪 → 名古屋 (60分)
・名鉄電車 名鉄名古屋駅 →(常滑線) 常滑駅(30分)
常滑駅からタクシーにて10分

●セントレアからお越しの場合

・私鉄電車(名古屋鉄道) から中部国際空港(セントレア) → 名鉄電車の普通電車に乗り「榎戸」駅下車 榎戸駅→工場南正門(徒歩5分)
・バス・タクシー・車から
セントレアライン → りんくうI.Cを降りて道なり→めんたいパーク越した交差点(名無し信号)を左折 → 鬼崎漁港東を右折し50m左

株式会社LIXIL 榎戸工場 〒479-8588 愛知県常滑市港町3-77 TEL〈0569〉42−2101

2020.9